



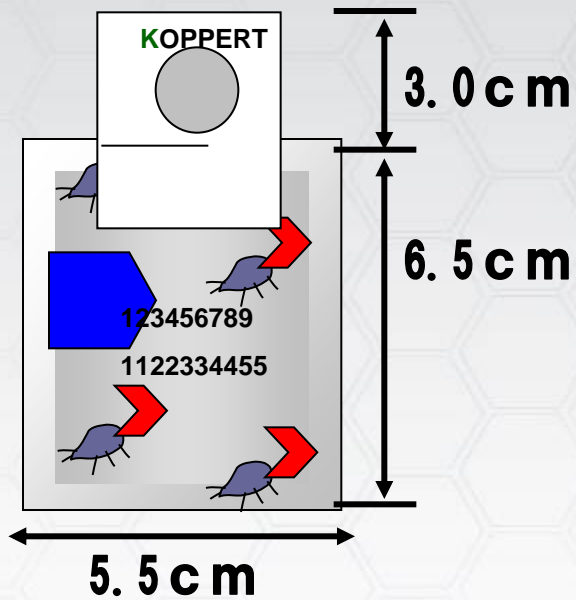
# 落葉果樹

## 露地梨での天敵利用

# スパイカルプラス

## 製品概要

有効成分： ミヤコカブリダニ  
含有量： 50頭/パック  
その他： ふすま、サヤアシニクダニ  
規格： 100パック入り/箱  
(5,000頭/箱)



# スパイカルプラス適用害虫

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミヤコカブリダニを含む農薬の総使用回数
野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	40～120パック/10a (約2,000～6,000頭/10a)	発生初期	-	茎や枝に吊り下げて放飼	-
豆類(種実) (施設栽培)						
いも類 (施設栽培)						
花き類・観葉植物 (施設栽培)						

果樹類のハダニ類に関して適用拡大準備中

平成24年2月現在

# 露地梨におけるスパイカルプラスのハダニに対する効果試験

**試験場所：埼玉県久喜市六万部**

**埼玉県農林総合研究センター園芸研究所**

**作物名：日本なし(品種：彩玉)**

**仕立法：ジョイント仕立**

**供試薬剤：スワルスキープラス**

**放飼日：2012年6月22日**

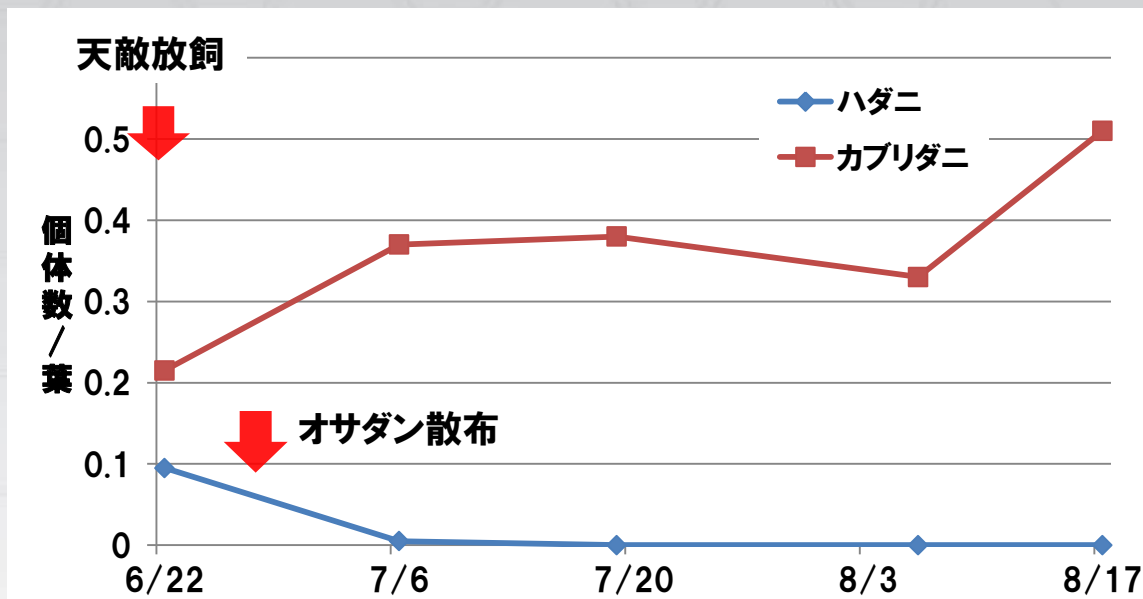
**放飼量：約100パック/90樹/10a**

**調査：放飼前、放飼2、4、6、8週間後を目安として、20樹をランダムに選抜し、10葉/樹に寄生するハダニ類およびカブリダニ類を計数した。**



# 露地梨におけるスパイカルプラスのハダニに対する効果試験

2012年 埼玉県農林総合研究センター



梨の葉裏のカブリダニ

図. ナシ葉上でのハダニおよびカブリダニの密度推移

スパイカルプラス放飼時にハダニが発生していたが、既に土着の天敵類が発生している状況下での試験となった。

スパイカルプラス放飼後のハダニ密度はオサダン水和剤の散布もあって、順調に下がっていき、試験期間を通してハダニの発生はなかった。

本圃場は数年前から天敵に影響の少ない薬剤を使用しており、毎年土着天敵が確認されていたが、ハダニの発生も毎年確認されており、殺ダニ剤を1回しか散布していないというのは初めての体験であった。

したがって、土着天敵とスパイカルプラスの併用により安定した効果が得られたと推察される。

# 露地梨におけるスパイカルプラスのハダニに対する効果試験

表. 試験圃場の薬剤散布状況

月日	殺菌剤	殺虫剤
4月6日	ビスダイセン水和剤 ×800	
4月17日	オンリーワンF ×2000	ダントツ水溶剤 ×2000
4月28日	チオノックF ×500	
5月8日	インダーF ×10000	アクタラ顆粒水溶剤 ×2000
5月18日	ベルコートF ×1500	フェニックス顆粒水和剤 ×4000
5月28日	オキシラン水和剤 ×500	
6月7日	ベルコートF ×1500	アクタラ顆粒水溶剤 ×2000
6月12日		コンヒューザーN 150本
6月18日	オキシラン水和剤 ×500	
6月22日		スパイカルプラス 100パック
6月27日	ベルコートF ×1500	オサダン水和剤
7月17日	ナリアWDG	

散布量は、250L/10a

上記の履歴に従うことで、梨のハダニに対するIPM防除が可能と考えられる。



# 露地栽培の問題点と解決案



降雨による浸水が見られ、こうなるとカブリダニは出てこなくなってしまう。  
そこで、葉裏逆さ貼り付けなど対策が必要

# まとめ

- 露地の果樹類のハダニ類に対しては、土着の天敵を活かしたIPM防除が有効である。
- 普段からカブリダニ類に影響の少ない薬剤を選抜し、使用することで土着天敵が増え、これに生物農薬を加えることで安定した効果が得られる。
- ハダニ防除は他の病害虫防除より散布水量を多くする方が多く、ハダニ防除が減るだけで作業時間を短くすることができる。

